

スタッフ&レジデント 大募集!

・参加無料・

Hello!



集まれ、くみやまキッズ！みんなで創るまち。

ミニ〇〇

こども スタッフ

各店のオーナーや役場職員や銀行員となり、まちを運営していくこどもたち。本番までに計6回程度の「こども会議」を開き、「ミニくみ」の準備を進めていき、本番ではまちの運営を担います。

こども レジデント

住民として働いたり、お買い物をしたりといった活動をしていくこどもたち。本番当日にまちでの活動の主体を担います。
※「こども会議」への参加はありません

『ミニ〇〇』とは、ドイツのミュンヘンで始まった「ミニ・ミュンヘン」に起源をもつ、こどもたちが主体となって、こどもたちのまちを運営していく疑似社会体験型プログラム。20年近くにわたり日本各地で「こどものまちミニ〇〇」として広く親しまれています。久御山町では「こどものまちミニくみやま」、略して「ミニくみ」の愛称でまちづくりセンターオープン後も毎年の恒例事業として実施していく予定です。

2024年12月8日(日)開催

会場：久御山町役場 5F コンベンションホール



ミニくみ でなにする?

子どもたちが考えたまちを、子どもたちで運営します。お店屋さん(手作りブレスレット、駄菓子など)、ゲーム屋さん(スーパーボールすくい、輪投げ、コイン落とし、ボウリングなど)といった店舗を運営することで『ミニくみ』というまちの中核的な活動をするようになります。また、活動を支える役場、ハローワーク、銀行、警察といったサポート部門もあります。

子どもたちのまちへの参加の仕方は2つあります。数か月前から数回の「**子ども会議**」を開いて『ミニくみ』の仕組みづくりやお店・サポート部門などを準備していく「**子どもスタッフ**」と、当日来場して『ミニくみ』でお買い物やゲームを楽しんだり、お店・サポート部門で働く体験をする「**子どもレジデント**」です。

子どもスタッフ

参加
無料

『ミニくみ』で各お店のオーナーや役場職員や銀行員となり、まちを運営していく子どもたちです。本番までに計6回程度の「子ども会議」を開きますので、これに参加して、『ミニくみ』の準備を進めていき、本番ではまちの運営を担います。

対象資格

- 久御山町内在住の小学3~6年生
- 子ども会議に毎回参加できる方

子ども会議の会場・日程

- 1 7/ 17 (水) 15:00 ~ 17:00
- 2 7/ 25 (木) 10:00 ~ 12:00
- 3 8/ 9 (金) 10:00 ~ 12:00
- 4 9/ 8 (日) 10:00 ~ 15:00
- 5 10/ 20 (日) 10:00 ~ 15:00
- 6 11/ 17 (日) 10:00 ~ 12:00



昨年の「子ども会議」

会場:久御山町役場5F コンベンションホール

『ミニくみ』本番の会場・日程

- 会場:久御山町役場5F コンベンションホール
- 日程:12/8(日) 9:00~16:00(予定)

※ご希望の場合、会議および本番当日ゆうホールから役場間の送迎をいたします。

申込期間

7/1(月) ~ 7/10(水)

子どもスタッフの
お申込みはこちら



子どもレジデント

参加
無料

『ミニくみ』の住民として働いたり、お買い物をしたりといった活動をしていく子どもたちです。本番当日にまちでの活動の主体を担います。子どもスタッフのように事前準備のための会議などはありません。

対象資格

- 久御山町内在住の小学1~6年生

『ミニくみ』本番の会場・日程

- 会場:久御山町役場5F コンベンションホール
- 日程:12/8(日) 9:45~15:00(予定)



昨年の開催風景

申込期間

7/1(月) ~ 12/5(木)

※先着150名に達した場合には、参加申込をしめ切ります。

子どもレジデントの
お申込みはこちら



■子どもたちの成長

同級生だけでなく他校や他学年の子どもたちと協力していくことで、「表現力」や「コミュニケーション能力」が成長するといわれています。また、「ミニくみ」での活動体験を通して、子どもたちがまちづくりのことを考えるきっかけにもつながっていくものと期待をしています。

■もっと具体的に「子どものまち」についてお知りになりたいという皆様へ

YouTubeなどの動画サイトで『**子どものまち ミニ**』で検索してみてください。日本各地の事例が出てきます。百聞は一見に如かず、どの様なものかご理解していただきやすいと思います。各地各様ですので内容は様々ですが、『ミニくみ』は今後久御山の子どもたちが試行錯誤しながら内容を決めていきます。